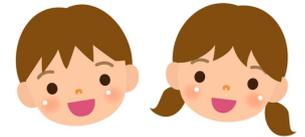


## 子どもが安心して生活できるように

令和5年度の修了式を迎えました。よい思い出、苦しかった思い出、様々な思い出の積み重ねの上に、強く賢くなった1年間の成長があるものと思います。「うちの子は成長が感じられないなあ。」「通知表がよくないぞ。」等、親としてはいろいろ思うところがある時期でもあるかもしれませんが、子どもたちが次の学年に向けて前向きになれるような言葉を考えてあげたいですね。結果だけで見るのではなく、途中経過のがんばりを褒めたり、何か課題があるとすればその原因を一緒に考えたりすることも大切です。

春休みはゆっくりリラックスできたらいのですが、学年が上がることに不安をもつ子やクラス替えがある学年では期待と不安で落ち着かない子もいるでしょう。別れや出会いもあって心が穏やかでない春の時期、子どもの様子を穏やかに見守っていただきたいと思います。



### ◇子どもにいつもと違う様子はないでしょうか？

- からだの調子：食欲がない、体調が悪い（特に頭痛や腹痛など）
- 表情や態度：表情がさえない、言葉数が少ない、おどおどしている、言葉遣いが荒い、人や物にあたる
- 持ち物の様子：お小遣いが早くなる、与えていない物を持っている、スマホなどに敏感に反応する・逆に全く見なくなった、家のお金がなくなっている、服に不自然な汚れ、持ち物がよくなる
- 就寝の様子：寝付きが悪そう、夜中に何度も目を覚ます、うなされている、いつもはしない歯ぎしりをするようになった、就寝時刻が遅くなる

以上のようなことがあったら、子どもを問い詰めずに「あなたを大切に思っているよ」というメッセージが伝わるように話を聞いてください。

### ◇子どもが相談をしてきたら…

困ったときに人に相談することは勇気がいることです。その機会を逃さないように、安心して話せる場を作りましょう。

- 子どもの思いを大切に：保護者が問題を急いで解決しようとするのではなく、子ども自身が解決できるよう、どのように解決したいのかを聞き、その思いを尊重してあげてください。
- 落ち着いてあせらずに：子どもが安心して生活できるように話を聞いてください。子どもの気持ちには「つらかったね」「不安だよ」など、共感する言葉を返し、子ども自身が自分の気持ちに気付くことを促します。
- 保護者の気持ちに余裕をもって：ゆったりとした気持ちで話を聞くことが大切です。もし相手があることでしたら、うちの子の言葉だけではなく、相手の子の気持ちや状況を想像してみることも大切です。

## 秋田中央警察署からの情報（少年保護育成委員会情報交換会から）

- ・少年非行が全県で+15%、中央署管内で+73%と増えている。
- ・秋田駅西口の芝生広場では、素行の悪い集団（10代~20代）がたむろしているため、子どもだけで近づかないようにとのこと。
- ・少年の薬物犯罪、喫煙、オーバードーズ、万引き、自転車窃盗が低年齢化している。
- ・ニコチンが入っていなければ補導対象ではないがシーシャ（水たばこ）に手を出す少年もいる。市内量販店でも購入可能。

小学生には縁がないようでいて意外に身近なところで起こっているようです。アンテナを高くして、情報として知っておくことも大切です。特に西口でバスを利用する児童がおりますので、注意させたいものです。